

海南島開発計画（通信ⅠⅡ）



海南省交通運輸庁郵電管理局

〔借款概要〕

承諾額/実行額	3,583百万円 / 2,821百万円
借款契約調印	1991年 1月 / 1991年10月
借款契約条件	金利2.5% / 2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1996年2月 / 1996年11月

〔事業概要〕

海南島の南北端に位置する海口市と三亜市を中心として島内の電話網を整備することにより、他の円借款により実施された道路・港湾整備と合わせ、同島の外資導入と観光開発を通じた経済発展に寄与するもの。

〔評価結果〕

本事業は電話交換機、中継電送設備及び加入者ケーブル等の増強を対象とし、1998年6月に完工した。本事業と並行して円借款により進められていた「海南島開発計画（道路）」の事業範囲が拡大されたことに伴い、本事業の融資対象が縮小されたが、対象外となった部分については中国側の自己資金により調達されており、通信事業全体への影響は出ていない。

事業完成前の1996年と完成後の2000年を比較すると、電話交換機の容量は586千回線から953千回線へ、加入者回線数は353千回線から693千回線へとそれぞれ増加し、この結果、積滞回線数は45千回線から12千回線へと減少した。また、電話普及率（台/100人）については、1996年の4.77から2000年には9.35へと大幅に増加しており、本事業は同島における電話通信の改善に大きく貢献したものと評価される。

なお、本事業により導入された設備の維持管理については、実施機関の技術レベルを含め特段の問題はない。